

## 所見評価

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	建設局公園緑地部公園管理課
評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立勝山公園	施設類型	目的・機能
	I	—	②③	
	所在 地	小倉北区城内1番ほか		
利用料金制	設置目的	都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする。		
		非利用料金制	・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制	・ 完全利用料金制
施設概要		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	名 称	北九州市立あさの汐風公園	施設類型	目的・機能
	I	—	②③	
利用料金制	所在 地	小倉北区浅野三丁目3番から6番まで		
	設置目的	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図ることを目的とする。		
指定管理者	非利用料金制	・ 一部利用料金制	・ 完全利用料金制	
	インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
指定管理業務の内容	名 称	北九州パークマネジメント共同事業体		
	所在 地	小倉北区下到津五丁目9番22号		
指定期間		平成29年4月1日～令和4年3月31日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント												
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み												
(1) 施設の設置目的の達成												
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。												
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があつたか。												
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。												
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があつたか。												
[所 見]												
H30 年度												
要求水準		勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上										
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値(%)	80	65	75	75	70	80	100	80	70	50	56	70
実績(%)	90	90	78	60	88	50	90	89	55	60	68	73
H29 年度												
要求水準		勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上										
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標値(%)	80	64	75	73	67	80	100	80	70	50	56	70
実績(%)	60	100	75	64	67	70	60	80	70	70	67	80
※ [ ] ・・・評価対象年度												
①② 施設運営業務や維持管理業務については提案された事業計画に基づいて、年間作業計画どおりにほぼ実施されており、北九州市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての適切な維持管理水準を保っている。												
まず、施設運営業務に関しては、グリーンエコハウス内に管理事務所を設置して管理責任者を置き、管理事務所の運営を行つた。また、グリーンエコハウスに隣接する場所に景観に配慮した外観の作業員詰所と倉庫を設置して、迅速・的確な管理運営が行える体制を整えている。												
勝山公園利用者の休憩所であるグリーンエコハウスの運営業務については、公園利用者への案内として、公式ホームページ・フェイスブック・インスタグラムを開設し、また、「勝山公園だより」を7回発行した。平成30年度には勝山公園のモニュメントマップと「オリジナルしおり」を作成・配布し市民に周知するとともに、「北九州市時												

と風の博物館」に勝山公園の歴史等を掲載、適宜更新するなど多くの市民に発信するなど積極的に取り組んでいる。

市民企画花壇「うえるっしゃ！花壇」管理運営業務については、市民ボランティアと相談のうえ事前に1年間の活動日を決定し、平日・土曜日・日曜日を必ず活動日に組み込んで、ボランティアの皆さんのが参加しやすい工夫を行うことで、443人の参加があった。

有料駐車施設運営業務については、場内での事故を予防するため、一方通行を誘導する矢印表示を追加したり、利用者への注意事項（使用可能紙幣や利用不能車種）の表示方法を工夫したりするなど、利用者の安全対策及び利便性向上につながる取り組みを行った。

次に、維持管理業務のうち、植物管理業務については、勝山公園で開催される大型イベント開催時期を考慮した草刈りの実施やメリケントキンソウ対策の確実な実施など、計画的に適正な管理作業を行なっている。また、公園内の通行に支障となる枝の除去や枯れ枝の対応など、巡回時に発見した問題に対しては迅速に対応した。あさの汐風公園についても芝生管理や樹木管理を適切に実施した。

施設管理業務のうち、巡回清掃業務については、市が求めている水準（3回/週）を上回る頻度（毎日）で実施している。また、小倉城の堀に浮遊するごみ等の回収や、大雨により雨水排水施設からあふれた枯れ葉の清掃を迅速に実施した。

グリーンエコハウス（管理事務所）施設維持管理として、グリーンエコハウス室内及び建物周辺の清掃を定期的に実施したことに加え、外壁清掃も実施している。また、壁面緑化等の植栽管理や隣接するトイレ清掃を着実に実施するなど、利用者が気持ちよく利用できる休憩所とするための維持管理を実施した。

公園内のトイレ管理業務（※清掃業務を除く。）として、トイレ内の点検・確認を着実に実施し、異常を発見した場合は市に報告を行い、また状況に応じて的確に応急処置を施した。

賑わいづくり事業については、指定管理者の実施イベントだけで14種類の事業を合計160回開催し、参加者は合計で2,352人であった。開催したイベントの中でも「SUP体験」、「勝山公園パークヨガ」、「あさの汐風公園スケートボード体験教室」、「水彩スケッチ教室」は定期的に開催され、人気、認知度ともに高いイベントとなっている。

そのうち、賑わいづくり事業の核となる「おもちゃ貸し出し事業」については、年間で89回貸し出しを実施し、合計で889人の利用があった。

また、夏休み期間中に夏休みラジオ体操を実施し、延べ759人の方が参加し、子どもとその保護者だけでなく、近隣の年配の方も参加され、世代間の交流が深めることができ、地域のコミュニティの場としても寄与された。

③ 勝山公園とあさの汐風公園の有機的な連携を図る事業については、あさの汐風公園をスタート地点とし、小倉の街をウォーキングしながらゴミを拾い、勝山公園を目指す「勝山公園・あさの汐風公園クリーンウォーク」の開催により、小学生から大学生までの参加があり、90kgのごみの収集と道行く人にモラルアップ等のPRを行うなど、施設間の連携を大いに図ることができた。（参加者91人）

④ 営業・広報活動については、公式ホームページ・フェイスブック・インスタグラム

や「勝山公園だより」の計7回の発行、子どもの遊び場のエリアマップ製作に加えて、構成団体であるRKB毎日放送の自社媒体を活用したテレビやラジオによる情報発信や、遊具貸出事業や各種イベントのポスター・チラシの作成を行っている。

## (2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

### [所 見]

#### 【施設利用】

満足度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
目標値	90%	91%	92%	93%	95%
実績	64%	59%	—	—	—

※ 「非常に満足」、「満足」を満足としている。

※ [ ] ・・・評価対象年度

#### 【職員対応】

満足度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
目標値	90%	91%	92%	93%	95%
実績	48%	64%	—	—	—

※ 「非常に満足」、「満足」を満足としている。

※ [ ] ・・・評価対象年度

① 大芝生広場の西側園路、弓道場横園路、子どもの遊び場駐車場横、あさの汐風公園、グリーンエコハウス内の計5箇所でアンケート調査を実施し、659枚の回答を得た。その結果、公園全体の管理状況に関する満足度について、満足・ほぼ満足が58.7%、職員対応に関する満足度については、満足・ほぼ満足が63.8%となり、目標値とかなりの乖離が見られるが、無料公園はもともと様々な年代の方々に多種多様な方法で自由に利用してもらう施設であるため、全ての利用者から満足を得ることは難しく、5割～6割程度の満足度はそれ程低いものではないと考える。

逆に、「不満」と「やや不満」の回答の割合は公園全体の管理状況に関するものは12.1%、職員対応に関するものは4.8%であることから、多くの利用者からは概ね満足を得られているものと考える。

②③ アンケートで把握した利用者の意見については、内容別に集計を行い、共同事業体の構成団体内で情報を共有している。また、毎月の共同事業体委員会で協議を行い、

利用者からの苦情や意見と合わせて真摯に受け止め、可能な範囲で業務改善や賑わいづくり事業に反映した。

- ④ 公式ホームページ・フェイスブック・インスタグラムを使ったタイムリーな情報提供に加え、共同事業体の構成団体である RKB 毎日放送の自社媒体を使った告知やスポット CM、チラシやポスターの掲示・配布により幅広く利用者へ情報提供を行っている。
- ⑤ グリーンエコハウスが公園利用者の無料休憩所であることをよりアピールし、利用を促進するため、グリーンエコハウスの窓に「無料休憩所」、「飲食に利用できます。」などの大型誘導掲示をし、のぼり旗を設置した結果、利用者が増加した。

乳児連れの利用者からのオムツ交換が可能な場所の問い合わせへの対応として、赤ちゃんサポート施設（ベビーベッドやベビーチェアが設置されたトイレ）や車椅子対応トイレの場所が分かる地図が掲載されたリーフレットを作成し、グリーンエコハウスで配布を行った。

休日には育児中の母子の来園者も多いため、グリーンエコハウス内の一角に簡易授乳室を設置し、利用者が増加している。（H29：16件→H30：28件）

また、勝山公園とあさの汐風公園の魅力発信を目的として、両公園で撮影した写真の投稿を呼びかけるため、ポスターやリーフレットを作成して配布し、投稿があった写真をグリーンエコハウス内のフォトギャラリーに飾るとともに、ホームページ上にも掲載した。利用者からの要望に対するサービス向上としては、自転車の空気入れポンプ貸出しについての問い合わせが利用者から複数あったため、グリーンエコハウスに空気入れを常備した。

## 2 効率性の向上等に関する取組み

### （1）経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があつたか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

#### [所 見]

指定管理料	H29 年度	H30 年度
予算	55,368 千円	54,190 千円
決算	59,443 千円	54,190 千円

※H29 駐車場閉鎖等に伴う契約変更あり。

総事業費	H29 年度	H30 年度
予算	80,868 千円	79,940 千円
決算	83,733 千円	75,052 千円

※ [ ] …評価対象年度

① 水道代に関しては、グリーンエコハウス、鷺外橋周辺の植栽の自動灌水装置の設定を、状況に応じて水遣り時間や間隔を調整することで節水に努めることに加え、漏水等の早期発見を目的として、ほぼ毎日、園内巡回を実施した。

電気代に関しては、グリーンエコハウス内のエアコンに係る温度設定の適正運用を行い節電に努めた。

② 再委託先については、長年、共同事業体の構成団体と良好な関係を築いてきた事業者を中心に、委託する業務内容に係る経験、技術力、緊急対応及び価格並びに経営・与信状況や法令順守等の経営体制を加味して市内事業者から選定を行っている。

③ スタッフの勤務シフトを 6 種類設定することで、無駄のない効率的な勤務体系を構築し、総合的な管理運営費の低減を図った。

総事業費の決算額は予算額より 4,888 千円減少 ( $\triangle 6.1\%$ )、対前年度比 8,681 千円減少 ( $\triangle 10.4\%$ ) で、経費の効果的・効率的な執行がなされた。

## (2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があつたか。

### [所 見]

収 入		H29 年度	H30 年度
利用料金収入	予算	19,200 千円	19,200 千円
	決算	15,358 千円	17,449 千円
自主事業収入	予算	3,800 千円	3,800 千円
	決算	3,211 千円	3,224 千円
その他収入	予算	2,500 千円	2,750 千円
	決算	645 千円	550 千円

※ □・・・評価対象年度

① 利用料金の収入増加のための取り組みとして、遠方から車を利用して子どもの遊び場に遊びに来る利用者の増加を図るため、子どもの遊び場マップとオリジナルしおりをセットにして、門司区及び八幡東区の「こどもと母のとしょかん」のカウンターで配布してもらい、広報に努めた。また、遠方からの子どもの遊び場利用者のリピーターを増やすため、毎日の清掃を欠かさず、清潔で安心・安全な環境づくりにも力を入れた。

自主事業収入の増加のための取り組みとして、自動販売機 7 台を設置している。賑わいづくり事業の収入増加のための取り組みとして、おもちゃ貸し出し事業を有料で実施したが、見込んだほど貸し出し件数が伸びなかつたため、年の途中から無料貸し出しとし、多くの子ども達が利用できる様に変更した。

### 3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

#### (1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

#### [所 見]

① 当初の計画どおり、管理事務所に公園管理業務の経験が豊富な所長と他の有料公園での勤務経験があり、高い造園知識を持つ副所長を配置している。両者ともに公園管理運営士と1級造園施工管理技士の資格を所有しており、両名の豊富な知識と経験のもと、合理的な人員配置と管理指導が行われ、適切に管理運営が実施された。また、緑地管理業務及び清掃業務に係る作業員を増員し、計9名体制で作業を行うことにより、大雨、強風による枝折れの撤去や側溝清掃等、緊急事案がより迅速に対応できるようになった。

② 施設利用者へのきめ細かな心遣いなどの接遇や緊急時の迅速な対応、個人情報保護、平等利用などについて研修を行っており、朝礼や終礼においても周知した。

また、事務職員はグリーンエコハウスに設置してあるAEDの使い方などについて習得するため、普通救命講習を受講している。

③ 「NPO 法人抱樸」や「社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会八幡東工芸舎」と連携して、被支援者の方に両公園内の手刈り、草抜き除草、落葉清掃等の就労支援を行い、自立と社会参加の促進に寄与した。

小倉北警察署と連携して園内の迷惑行為や放置自転車、不法投棄物、不審物などの対応を実施している。

#### (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

#### [所 見]

① 水彩スケッチ教室などのイベント参加者及びうえるっちゃん花壇のボランティアの個人情報、拾得物や遺失物への対応で取得した個人情報については、法令等に基づいた適切な管理を実施している。

② 公園利用者に対して正当な理由がない限り、老若男女、国籍などによって公園施設の利用の拒否や利用の制限をしない平等利用を徹底している。

一部の利用者に対して、他の利用者と異なる便宜を図ったり、特別な許可を与えた

りしないことに加えて、利用者との直接対応や電話対応においても、不当な差別的扱いをしないなど、利用の公平性や平等利用を徹底している。

- ③ 該当せず。
- ④ 収支の内容についてはモニタリングを行うことで不適切な点がないことを確認している。
- ⑤ イベント実施時には、カラーコーンでイベント実施エリアを明確に明示したり、監視員を配置したりして、イベント参加者と一般公園利用者との接触事故の防止を図るとともに、イベント参加者に対しては必要に応じてヘルメットや救命胴衣の着用を義務づける等の安全対策を実施している。

除草・剪定等の実施に関しては、始業時の朝礼において当日の作業内容や工程、危険事項等を説明し、作業員全員への事前周知を徹底した。作業時にはカラーコーンで作業範囲を明確にして立ち入り禁止にするとともに、工事の案内看板によるお知らせを行い、公園利用者に作業実施中であることが分かるよう対策を行った。また、作業実施中に公園利用者が近づいた場合は、監視者が笛を吹いて作業員の作業を一時停止させたり、草刈り時の小石等の飛散防止のために防護ネットを使用したりする等の安全対策を実施している。ボートを使用しての堀清掃実施時には、救命胴衣を必ず着用させるとともに、護岸に監視員を配置し、周囲の状況を確認しながら作業を行った。

また、公園利用者の安全確保のために日常巡回を欠かさず実施して、通行の障害となる園路へはみ出した枝や落下した枯れ枝の除去、照明施設の異常の早期発見に努めている

- ⑥ 『事業計画及び管理運営手順』に緊急時の体制や対応方法等が規定されており、適切な対応が実施できる危機管理体制が構築されている。
- ⑦ 事故及び災害等の発生はなかった。

## 【総合評価】

### [所 見]

施設の設置目的の達成のため、グリーンエコハウス内に管理事務所を設置して、細やかで迅速な管理運営を実施することにより、北九州市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての適切な維持管理水準を保っている。また、ホームページやSNSを使ってイベント情報等を発信することに加えて、イベントのポスターやチラシ、公園を多くの人に知つてもらうエリアマップやオリジナルしおりを配布するなど、着実な広報活動を実施しており、「勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率40%以上」という市の要求水準に対しては全ての月でクリアしている。

適正な管理運営に関する取組みについては、管理事務所に経験と知識の豊富な所長と副所長を配置するとともに、合理的な人員配置が行われ、適切に管理運営が実施された。

また、イベント実施時の参加者への安全対策や除草・剪定等の実施時の一般公園利用者と作業員への安全対策も着実に実施するとともに、安全確保のために日常巡回を欠かさず実施し、利用者が安心安全に公園利用できるよう努めた。

市のシンボル公園としての位置づけや設置目的を的確に理解し、施設の適切な維持管理に加え、都市の賑わいを創出し、市民の憩いや身近なレクレーションの場の創出として、子どもから大人まで楽しめる公園利用の促進が図られている。

#### [今後の対応]

北九州市のシンボル公園である「勝山公園」と小倉駅新幹線口の回遊拠点である「あさの汐風公園」という注目度の高い公園が管理対象施設となっているため、施設運営業務及び維持管理業務（植物管理、施設管理）について、平成30年度の実績と経験を活かしながら、引き続きしっかりと維持管理水準を満たした管理運営に努め、また、利用者の満足度を上げるよう、引き続き取り組む必要がある。

賑わいづくり事業については、指定管理者が主体となって開催したものだけで14種類の事業を合計160回開催し、合計で2,351人の参加があり、一定規模の賑わいを作り出すことができたと評価できる。特に平成30年度成果を上げた集客イベントや企画展等の工夫を継続し、更なる賑わいづくりに取り組む必要がある。

また、勝山公園とあさの汐風公園の有機的な連携を図る事業については、勝山公園とあさの汐風公園での共同イベントの開催等更に相互の連携や回遊性を高める工夫を行うことにより、一層都市の賑わいづくりを創出する必要がある。

収入については、平成30年度の決算額は予算額を下回っているが、令和元年度以降も平成30年度と同等規模以上の賑わいづくり事業を行う予定であるため、その事業実施に必要な費用確保できるよう収入増加に取り組むことを期待したい。